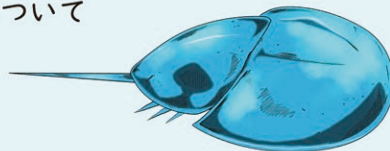


# まなべ陽子のかぶとがに通信

市議会だより 10号 令和7（2025）年4月発行

- P.1 令和7年度一般会計当初予算について
- P.2 P.3 個人質問について
- P.4 日々の活動より 他



## 【 令和7年度一般会計当初予算について 】

令和7年度一般会計当初予算は、275億700万円。  
笠岡湾干拓地臭気対策など新規事業が盛り込まれて  
います。

中でも特に子育て世帯、多子世帯への施策は、これ  
まで以上に手厚いものとなっています。

### 《 こども、子育て世帯、多子世帯関連事業 》

- ・ 小学中学校の家庭科室や美術室などに空調  
設置(熱中症対策) **1億1000万円**
- ・ カブトガニ博物館恐竜公園への新規遊具  
導入 **2510万円**
- ・ 子どもや子育て世帯、妊産婦を一体的に支援  
するため、こども家庭センターを立ち上げる  
**1774万7000円**
- ・ 令和8年度4月から医療費無償化を高校生  
までに拡大するためのシステム改修を行う  
費用を計上 **471万円**
- ・ 第2子以降の保育料、完全無償化**1487万円**
- ・ 2人以上の子どもがいる家庭の負担軽減策  
として兄弟で育児サービスを同時利用する際  
の料金補助を実施  
延長保育 **33万円** 一時預かり **14万円**など

### 《 令和7年度予算 その他の主な事業 》

- ・ 敬老祝賀事業として市からお祝いのメッセー  
ジカードを送付(80歳、88歳、90歳、99歳、)  
満100歳の方に記念品を贈呈 **104万円**
- ・ 国道2号線バイパスに接続する市道の改良、  
拡幅 **1億810万円**
- ・ 畜産業の臭気問題解決に向けた対策  
**1240万1000円**

### 【 省エネ家電等買替促進事業補助金 】

家庭におけるエネルギー費用負担の軽減、温室効果ガス  
排出量削減につながることを目的に、省エネ機器への買  
い替えを支援します。

受付 令和7年7月1日～（予定申請数達し次第受付終了）  
詳細・問い合わせ先 市民生活部環境課 62-3805

### 🌀 真鍋の視点 🌀

令和7年度から廃止となっている《 環境保全型農業  
直接支払事業※》は笠岡市財政健全化プランに対する  
パブリックコメントには必要性があることについて複  
数のコメントが集まっていましたが事業は廃止に。

農作物の高騰で市民が苦しんでいる一方で耕作放棄地  
が増加し続けている地域の現状がある中、市内における  
耕作放棄地の解消と、より安心安全な農作物の提供を  
両立させることができる政策につながる事業が立ち消え  
ていることは非常に残念。

財源不足だからこそ、未来を生きる子どもたちのために  
本当に必要なことについては、マクロな視点で政策を  
打ってほしい。そしてミクロな視点で、地域における  
活動を行政として丁寧に支えて欲しい、と考えています。

#### ※ 環境保全型農業直接支払事業とは

地球温暖化防止や生物多様性保全などに効果の高い  
農業生産活動などの取組を実施する農業者団体に対  
して支援を行う事業。国と県から4分の3補助が出る  
ため、市の負担は4分の1のみ。

地球温暖化は近年多発している山林火災と  
密接に関連があると専門家から言われている。



### 《 臭気問題について、会派で視察を行いました。2025.4.3 》

2025年4月1日から守屋基範  
議員、藪田誠二郎議員と3人で、  
会派を結成。新たなスタートを  
切っています。



(写真 視察受け入れをしてくださった杉山孔太さんと娘さんと)



## 令和6年（2024）12月定例会

- ① 令和6年10月27日執行岡山県知事選挙・衆議院議員総選挙について
- ② 岡山県みどりの食料システム戦略基本計画に基づく笠岡市における取り組みについて
- ③ 笠岡市財政健全化プラン（素案）について
- ④ 学校教育について



### 【 笠岡市財政健全化プランについて 】

国や県の方向性と逆行する形で環境保全型農業直接支払事業が廃止となっている。今後は取り扱わないのか。

- 答** 産業部長より  
意欲ある農業者に対してはしっかりとヒアリングを行い、現行制度の中で支援を行っていききたい。

社会の壁に日々直面しながら生活をされている障がい当事者やそのご家族のために、市として心のバリアフリーを目指してほしい。障がいがあっても社会参加できる場所が増えて欲しいが。

- 答** 市長より  
お互いの多様性を認め、理解につながるような取組が必要。様々なイベントを分野が重なり合うように実施することで、実施者や参加者が互いの分野を見聞きする中で知識や理解がより広がりを見せてくれると考えている。

これまでの成人式で車椅子やストレッチャーで生活されている方が参加されたことはあるのか。

- 答** 教育部長より  
車椅子、つえの方、保護者の付き添いで来られる方などいらっしゃる。ストレッチャーの方は（2024年12月時点において）いらっしゃらない。

成人式は1年前などに事前見学はできるか。



- 答** 教育部長より  
事前見学は大いに歓迎する。実際に必要なサポートについて知るためにも遠慮なく申し出ていただきたい。

指定ごみ袋無料配布事業は、有料化も視野に入れて検討するのか。



- 答** 市長より  
議会からの政策提言や市民の皆様からのご意見をお聞きしながら検討していく。

## 【 学校における合理的配慮、これからの学校教育について 】

合理的配慮が必要な生徒が高校入試においても支援を受けられる体制は整っているのか。

- 答** 教育長より  
特別な支援を必要とする生徒が受験する際に不利になることがないように高等学校と連携を取っている。中学校で行っている相談体制を充実させ、全ての志願者が力を出し切ることができるように、各校に指導していく。

笠岡ならではの教育を求める声が増えてきている中、教育長が目指す学校教育とは何か。



- 答** 教育長より  
子どもたちが主体的に考え、他者と協働しながら課題解決できる探求的な学びを展開したい。地域を学びのフィールドにしていきたい。

### 真鍋の視点

財政健全化プラン策定によせて～阿部正弘と関藤藤陰～  
幕末のバランス型リーダーとして有名な福山藩藩主 阿部正弘は、将軍を支える老中主座、江戸幕府における最高職として、黒船がやってきたときに身分を問わずにパブリックコメントを募ったこと、能力に応じて人材育成や人材登用を行ったことでも有名です。

その阿部正弘の頭脳と耳目を代行する働きをしていたのが、備中国小田郡吉浜村、今の笠岡市吉浜に生まれた関藤藤陰。

藤陰は阿部正弘の老中就任に伴い江戸に呼び出され、正弘を補佐する側用人として黒船来航の時は現地視察を行い、黒船の船内も調査したと言われています。

残念ながら正弘は39歳の時、若くして亡くなってしまおうのですが、藤陰はその後は福山に戻り、幕末動乱期の福山藩を支えており、中でも明治元年、長州軍福山城攻囲戦においては、和平交渉を成立させ、福山藩城下を戦火から救いました。これは、後の江戸城無血開城の手本となっていると言われています。このように幕末、歴史の大きな転換点の中心に、実は笠岡出身の方がいらっしゃった。

どんな難局も、知識と知恵と経験と、ビジョンある志と、巧みで丁寧な交渉でのりきることができます。そのお手本となる先人が、笠岡にはいます。

黒船が来た時、安部正弘が激動の時代が来ることを予測、広く意見を募り、また新しい時代を乗り切るための人材育成の場として藩校「誠之館」を創設。藤陰はその「誠之館」創立をしています。

笠岡市政における市長の改革はまだまだ始まったばかりですが、やはり大切になってくるのは、市民への情報公開、対話の姿勢、そして職員の人材育成、人材登用です。

笠岡市は今後、ますます職員、特に新人や中堅の職員をしっかりと育て、一人一人の能力が活かされるようなシステムづくりをさらに意識してやっていただきたい。

## 令和7年（2025）3月定例会

- ① 笠岡市財政健全化プランについて
- ② こどもまんなか社会の実現に向けて



### 【 財政健全化プランにおける所得の再分配機能について 】

自治体における所得の再分配機能という視点で見たとき、今回のプランは満足のものになっているのか。今後の状況によっては公共の福祉に対して新たに財源を割くことはあるのか。

**答** 市長より  
限られた財源の中で公共の福祉というものには最大限配慮した。今後は財政面、社会情勢を見ながら考えていく。基本的な考え方としては、市民は顧客ではない。サービスの競い合いをすることで人口を引っ張って来ることを考えているわけではない。あくまでも自治体としてなすべきことをして市民の皆様と一緒に課題を見つけ、それを解決していくことが自治体の役割だと考えている。

#### 《 財政・法務・公務労働の勉強会にオンライン参加しました。2025.1.16 》

様々な自治体の新人議員や今後チャレンジされる方が集った勉強会。外からの視点にハッとさせられることが多い学びの時間でした。



### 【 こどもまんなか社会の実現に向けて 】

笠岡市こども条例の定義をこども基本法に合わせることはできるか。

**答** こども部長より  
子ども計画策定のタイミングに合わせて、子どもの定義についても検討していく。

こども基本法 パンフレット➡



学校のトイレに生理用品を置いているのか。

**答** 教育部長より  
常設しているのは市内中学校4校。設置は学校長の判断で可能。



合理的配慮における負担への支援は。

**答** 教育長より  
教員の負担軽減など、より効果的、効率的な支援のあり方については今後も関係機関などと連携しながら研究していく。

相談支援ファイル「かけはし」を今の時代に合ったものへ改定できるか。

**答** 教育長より  
必要があればしっかりと話し合いをしていきながら見直していきたい。

様々な計画や新たな学校の在り方などについて一人一台タブレットを活用するなどして子どもにアンケートを取れるか。

**答** 総務部長より  
探求的な学びの延長線上で適切な課題があれば、当事者である子ども達の意見も柔軟に取り入れていく。

### 🌀 真鍋の視点 🌀

2024年の国内出生数が9年連続で最少。速報値では約72万人。この6月に発表される日本人のみの出生数は70万人を割り込む見込みです。

2022年からは3年連続で5パーセント以上の減少。100万人を割り込んだのが2016年、90万人を割り込んだのが2019年、80万人を割り込んだのが2022年、3年ごとに10万人ずつ減るペースです。



一方で、子どもの自殺。

2024年は527人とこれまでで最も多く、特に女子中高生の自殺が増えています。

小中学生の不登校も過去最多の34万人。不登校の子を持つ保護者のうち5人に1人が離職しているというデータもあります。

学校内における支援体制の拡充はもちろん、学校外の居場所の確保は自治体としての急務です。

こども、若者、そして女性支援はやっているようでも、まだまだ足りない状況、なお一層の努力が必要です。

令和7年2月10日令和6年の児童生徒の自殺者数(暫定値)の公表を踏まえた児童生徒の自殺予防に係る取組の強化について(通知)



岡山県教育委員会では高等学校の現場における対応を示した教職員向けの「合理的配慮」ガイドブックを作成しています。生徒本人や保護者との合意形成、進学先・就職先への引き継ぎなど、本人、保護者、支援者にとっても大切なことが書かれています。ぜひ読んでください。

高等学校における「合理的配慮」ガイドブック



合理的配慮とは

障がいのある人が社会生活において、障がいのない人と同じように平等な機会を享受できるよう、個々の障がいの特性や状況に合わせて必要な変更や調整を行うこと。

## 日々の活動より



笠岡市内におけるオーガニック給食に関する取り組みについての意見交換会 (2024.11.27)



観光地 古城山公園に向けた提案会 (2025.1.18)



北木島オールロケ映画「しまねこ」特別上映会&トークショー (2025.2.2)



地球環境負荷の低い農業に取り組んでいらっしゃる方々と情報共有、交流する会 (2025.2.5)



笠岡市立ひまわり認定こども園新施設見学 (2025.2.20)



ひまわり認定こども園卒園式 (2025.3.22)



令和6年度マチナカトークまちづくり団体活動発表&意見交換会 (2025.3.30)



映画を2本観ました。(2025.4.2)  
「104歳、哲代さんのひとり暮らし」「どうすればよかったか？」

### 【入会団体・賛同団体】

みどり岡山  
自治体議員政策情報センター虹とみどり  
気候危機・自治体議員の会  
立憲主義と地方自治を守る議員の会  
岡山県市議会議員女性の会

### 【所属している委員会・組合議会】

厚生産業委員会  
予算決算委員会理事会  
岡山県西部環境整備施設組合議会  
岡山県西南水道企業団議会

### 【これまでに所属した委員会・組合議会・審議会】

議会運営委員会 総務文教委員会 議会・行政改革特別委員会  
笠岡市都市計画審議会 岡山県笠岡市・矢掛町中学校組合議会  
岡山県西部地区養護老人ホーム組合議会

## 真鍋の視点

【防災について身近なところから考える】

なぎさ会が月に一度行っている美の浜会館の清掃に毎月できるだけ参加しています。

2025年2月16日、清掃に参加した後、みなさまと一緒に笠岡市まちづくり出前講座「笠岡市総合ハザードマップについて」受講。ハザードマップを観ながら様々な危険や防災、減災について学びました。

以下にメモをシェアします。

- 少しずつでも対策する
- ハザードマップは堰や堤防が機能しない最悪の場合を想定して作られている。
- 緊急地震速報が鳴ったらまず頭を守る
- 危ない地域から出る
- 危ない地域に旅行をする方は事前にハザードマップをチェック
- 非常持出品はそれぞれの状況に応じて準備
- 水と食糧、お菜、懐中電灯(中の電池を確認)
- 水、食べ物、トイレトーパーなどをローリングストック
- 電池は1年に1回チェック
- 安心のために7日間暮らせるだけの備蓄を
- カセットコンロの確保(電気がなくても火が使える)
- ボンベをちょっと多めに備えておく
- トイレが被害を受けなくても下水道が被害を受けていたら流れない。簡易トイレの準備があれば安心。
- 家具の転倒防止を

一気に難しくても少しずつでも備えていくことが大切、とのお話がありました。

笠岡市のハザードマップはこちら →



### 備後圏域議員の集い (2024.12.27)



福山市議会議員の貝原大和さんとともに、井原市、福山市、尾道市、竹原市、三原市、笠岡市の市議会議員による意見交換会を開催しました。今後は定期的に開催することで連携を強化、備後圏域での政策提言を目指しています。

シネマ・クレールにて映画「どうすればよかったか？」鑑賞。(2025.4.2)



偶然、鬼木のぞみ岡山市議と一緒に観ることに。鑑賞後、感想を語り合いました。

manabeyoko.kasaoka@gmail.com



ホームページ <http://www.manabeyoko-kasaoka.org>

ブログ <http://blog.livedoor.jp/manabeyoko>

Facebook <https://www.facebook.com/manabeyoko>

Instagram [https://www.instagram.com/manabe\\_yoko\\_k](https://www.instagram.com/manabe_yoko_k)

TikTok [www.tiktok.com/@manabeyoko](http://www.tiktok.com/@manabeyoko)

まなべ陽子市議会だより「かぶとがに通信」へのご意見・ご要望・ご提案などお聞かせください。どうぞよろしく願いいたします。

